snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

TP-900/リビングメッシュエッグ

取扱説明書

TP-900

このたびは、スノーピーク製品をお買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。
安全にご使用頂くためにも本取扱説明書を必ずお読みください。
取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項

フィールドでは予測不可能な事態が突発的に発生し、時にはプロダクツの性能を超えるような状況に直面する場合もあります。以下の説明がすべての危険な状況を説明している訳ではありません。プロダクツの性能をよく理解したうえで安全なキャンプをお楽しみください。

火気厳禁

□この製品の素材は難燃性ではありません。室内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や特に炭火や練炭を使用しますと酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。

□室内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

天候・気象状況

□気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはペグや張り綱がしっかりとつながれているかなどを点検してください。

□急な積雪により、ドアパネルのマッドスカートが雪で覆われたり、天井部に高く積ったりすると危険です。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして換気にも注意をしてください。

設営・設営場所

□風の吹きぬけるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけのよい平坦な場所を選んで設営してください。

□燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなど熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。万一熱源が転倒したり落下しても延焼しない距離を保ってください。

□たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。特に風下側では火の粉を履り、生地に穴をあけてしまう場合があります。

□樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを痛めます。

□設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。

□必ずペグを打ち込みしっかりと固定してください。

□弊社のテント、タープなど縫製製品は常設用ではございません。

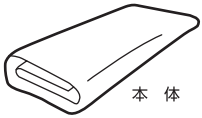
初めてお使いになる前に

□品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

□縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープやエラスティックバンドを縫いつけた部分は、製造の都合上或いは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が侵入することがあります。ご購入時は、シーリング加工は行なっておりませんので、付属のシームシーリング剤であらかじめ縫い目に表と裏からシームシーリング剤（目止め液）を縫い目にそって、塗布してからお使いください。

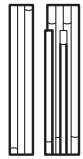
□本製品は結露を軽減する機能を有しておりますが、防止するものではございません。悪条件が重なった場合、本体内部に多量の結露が発生する場合がございますのでご注意ください。

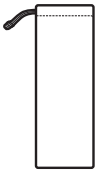
■セット内容　※ご使用の前に、付属品が全て揃っているかを確認してください。


本　体

ジュラピンペグ
20cm×8
25cm×2

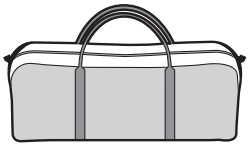
自在付ロープ
2.4m×4


メインフレーム×2
サイドフレーム×1


フレームケース×1

ペグケース×1

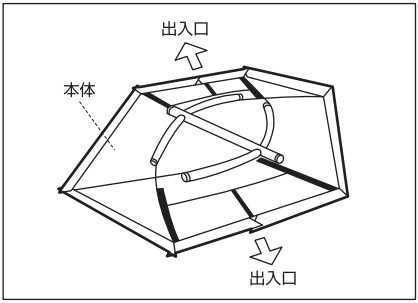
シームシーリング剤×1

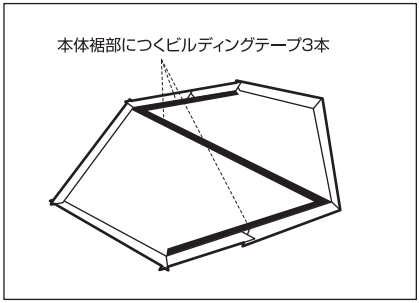

収納ケース×1

□セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

設営の手順

1）設営する場所に広げます。その時、2つある出入口用ドアパネルの向きを確認してください。
注）ビルディングテープのバックルが接続されていることを確かめて下さい。もし外れている場合は設営前に必ず接続してください。

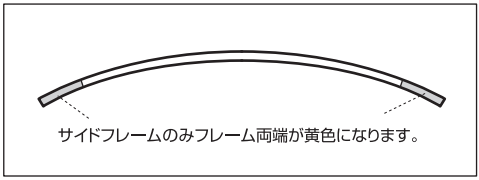


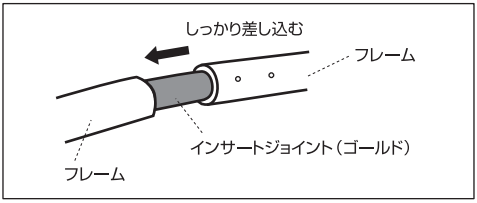


2）フレームを接続します。両端が黄色のフレームが、サイドフレームになります。シルバー1色の2本がメインフレームとなります。

※全てのフレームのインサートジョイント部は、ゴールドになっています。これは設営の際に、しっかりフレーム同士がジョイントされていることを確認しやすくする為です。設営の際は、名ジョイント部分のゴールドが見えなくなるようにしっかり接続して設営してください。

注）インサートジョイントがしっかり差し込まれていない状態で設営すると、フレーム破損の原因になります。

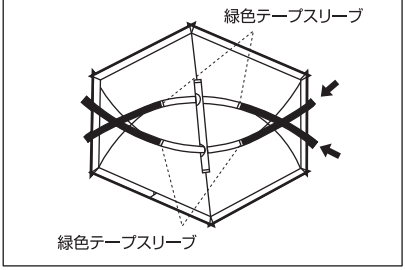




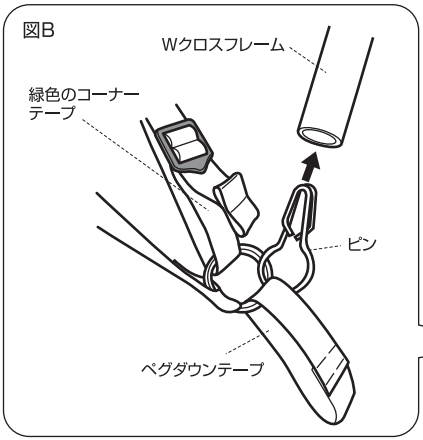
3）2本のメインフレームを緑色の表示のあるスリーブに1本づつ、ゆっくりと送り込みます。（以降Wクロスフレーム）〔図A〕

4）Wクロスフレームの先端にピンを差し込みます。（Wクロスフレームのコーナーテープは緑色です。）〔図B〕

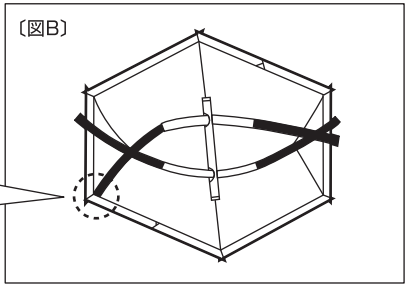
〔図A〕Wクロスフレーム



図B

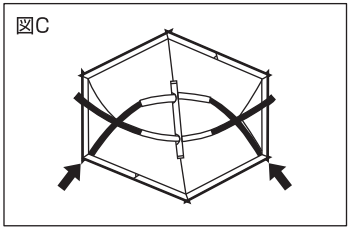


〔図B〕

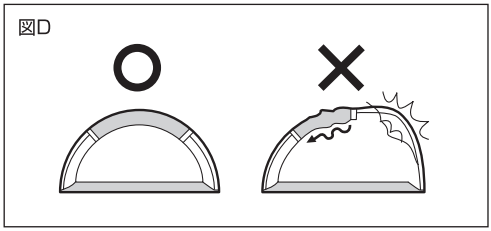


5）差し込んだWクロスフレームの反対側の先端にピンを差し込みます。〔図C〕
※スリーブの位置が中央になるように本体を調整しながら、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームの破損の原因になります。〔図D〕

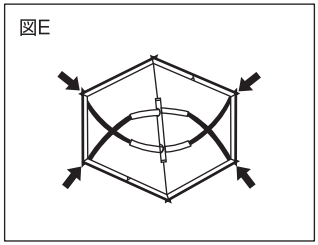
図C



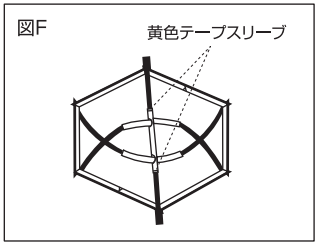
図D



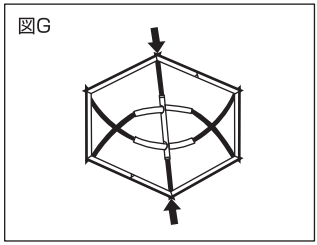
図E



図F



図G



6）もう1本のWクロスフレームも同じ要領でピンを差し込み、本体を立ち上げます。〔図E〕
※この時に、ドアパネルを半分位開けておくと空気が室内に入り、うまく立ち上がります。

7）両端が黄色のサイドフレームを黄色の表示のあるスリーブにゆっくりと送り込みます。（以降サイドフレーム）〔図F〕

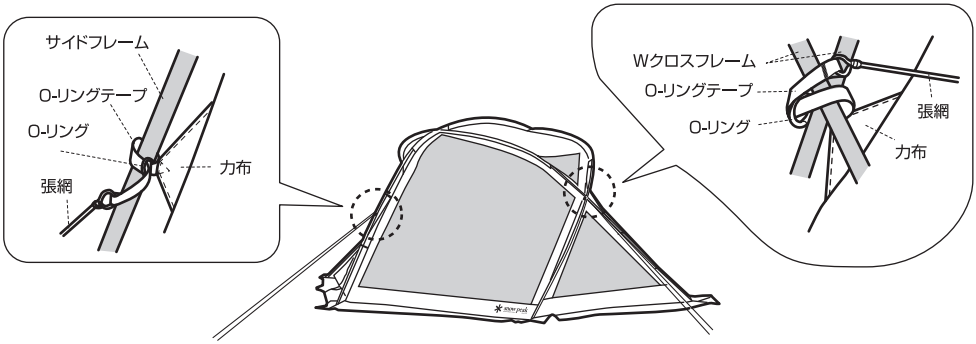
8）サイドフレーム両端をピンに差し込みます。（サイドフレームのコーナーテープは黄色です。）〔図G〕

9）本体に付いているプラスチックを各々のフレームに引っ掛けます。

10）裾部リングピンに付いている、ペグダウン用テープにジュラピンペグ（20cm）を通し、全てペグダウンします。
注）最後にビルディングテープを外す時は、ペグダウンを室内側にしてください。

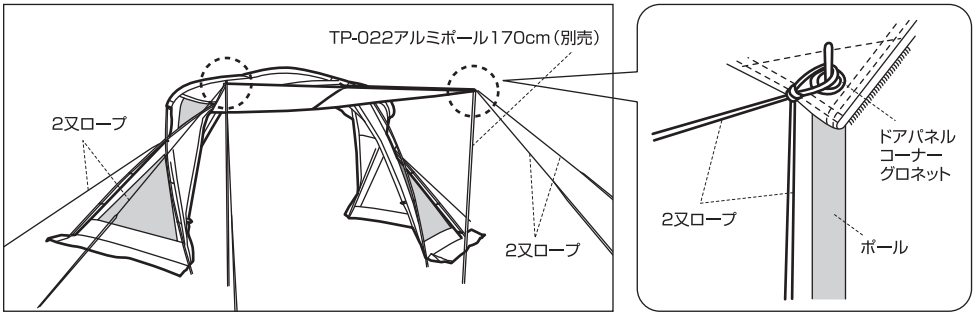
11）本体Wクロスフレームの交差部2ヵ所・サイドフレーム2ヵ所の張網用力布・O-リングテープをフレームを巻き込むようにしてテンションをかけて、ペグダウンします。
（Wクロスフレーム交差部2ヵ所の張網用のペグは25cmを使用）

※この4ヶ所の張網は、前後左右からの風に対して、強度を保つ為の非常に重要な役割をしますので、必ずペグダウンしてください。



□ドアパネルの跳ね上げ

別売りポール（推奨ポールTP-022アルミポール170cm）2本を使用してドアパネルを跳ね上げることができます。

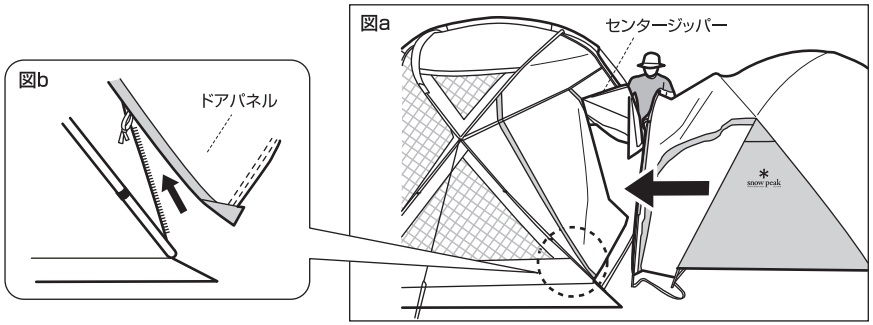


ドアパネルを開けて、ドアパネルコーナーのグロメットにポールを差し込み2又ロープを掛けてテンションをかけます。
注）降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますので、ポールを斜めに倒し勾配をつけるなどして水の逃げ道をつくり、溜まらないようにします。

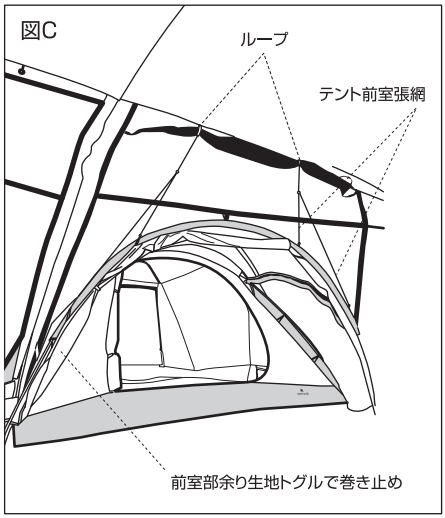
■テントとの接続

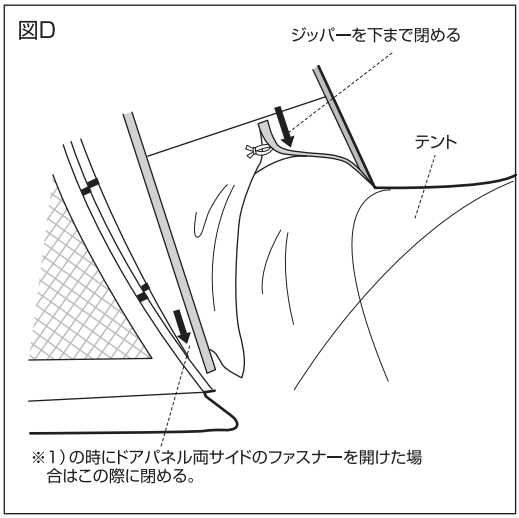
本製品はランドブリーズ4・5・6／アメニティードーム／アメニティドームSとの接続が可能です。

1）接続したいドアパネルのセンタージッパーをフルオープンにして、テントの前室フレームを室内側に入れます。〔図a〕
注）この時に入れにくい場合は、ドアパネル両サイドのファスナーも少し開けた状態で行います。〔図b〕

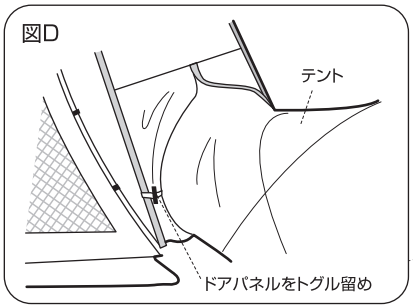


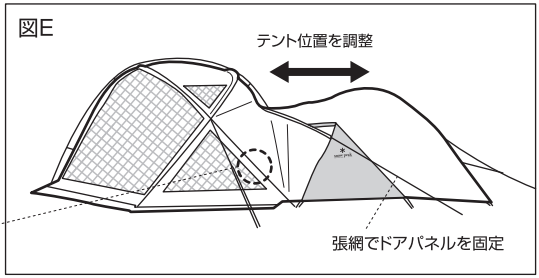
2）室内側から、テント前室フレームの張網をリビングメッシュエッグのドアパネル上部のループに適度なテンションがかかるように結び、前室フレームを安定させます。〔図C〕
注）強い力でテンションをかけると、ループの縫い付け部分の破損につながりますのでご注意ください。
3）テント前室部の余り生地をトグルで巻き止め〔図C〕テント入口両サイドボトムコーナーをペグダウンし固定します。
4）外側から1）でフルオープンにしたセンタージッパーを下げられる位置まで閉めます。〔図D〕





5）フライシートにしわが出ないように、テントの位置を調節して、ペグダウンします。〔図E〕
注）テントを後方に強く引き過ぎると、リビングメッシュエッグからテント前室部が抜ける恐れがありますのでご注意ください。分割されたドアパネルは、ドアパネル両サイドのトグルで巻き留めるか〔図D〕もしくは分割ドアパネル中央のループテープを利用して張網でテント後方に向けてペグダウンしてください。
注）アメニティードーム／アメニティドームSはサイドドアからの出入が不可能になります。





■収納時の注意事項

□十分に乾燥させてから収納してください。
□撤収の前にビルディングテープのバックルをセットします。次回設営時にペグダウンの位置が決まりやすくなります。
□フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
□スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあり生地を傷める場合があります。
□フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。
端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切れ、フレームの曲がり、折れの原因になります。
□ペグを全て抜き、よごれを落として頭からペグケースに挿入し収納してください。

永くお使い頂くために

スノーピーク製品の優れた品質は正しい取り扱いとメンテナンスにより維持されるものです。プロダクツの機能を損なわないためにも、以下のポイントに留意してください。

応急処置

- □ 不測の事態によりフレームや、本体生地が損傷する場合がありますので、リペア用品（ガムテープ、ビニールテープ、添え木になるようなパイプなど）を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、大がかりな修理が必要になったり、修理不能になる場合があります。損傷拡大を防止するためにも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ 本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ フレームが折れたときは速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

撥水・防水性能について

- □ 撥水・防水加工の生地を使用しておりますが、使用頻度により変わりますが長くご使用になると機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーを使用してください。防水性が衰えてきたときは市販の防水液を使用してください。（スプレーをご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。）
- □ 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合がございます。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- □ 強力な撥水材の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

- □ 本製品の生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。

※ UVカット加工は、紫外線による人体への影響や素材劣化を防止するものではありません。

- □ 天井部の生地には遮光ピグメントPU加工を施しています。遮光ピグメントPU加工は生地を透過して室内に入る太陽光を軽減します。

※ 遮光ピグメントPU加工は、太陽光及び紫外線を遮断するものではありません。また、太陽光や紫外線による人体への影響や素材劣化を防止するものではありません。

- □ テント素材は長期間日光にさらされた場合、退色や強度低下などの劣化を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- □ 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- □ 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また濡れたままの保管は避けてください。
- □ 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- □ カビが生えてしまった場合、付着した色を除去することは出来ません。表面に出ているカビを取り除き、アルコールなどで除菌してください。また、カビによりPUが破壊され水漏れが発生する場合がございます。
- □ フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- □ 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- □ ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- □ 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- □ シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合がございます。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変質したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングがいっしょに剥離された場合、修理できなくなる可能性がございます。
- □ ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- □ 次回のキャンプに備え、ペグなどの付属品も含め十分に保守、点検をしてください。

修理について

- □ 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- □ 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- □ 修理品には修理箇所がはっきりと分るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- □ 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。

1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

品質表示
TP-900 リビングメッシュエッグ

天　　井／150Dポリエステルレオックス・遮光ピグメントPUコーティング
（耐水圧3,000mmミニマム）
UVカット加工・テフロン加工（初期撥水100点、5回洗濯後90点）

そ の 他／75Dポリエステルタフタ・PUコーティング
（耐水圧1,800mmミニマム）
UVカット加工・テフロン加工
（初期撥水100点、5回洗濯後90点）

マッドスカート／210Dポリエステルオックス
PUコーティング（耐水圧1,800mmミニマム）

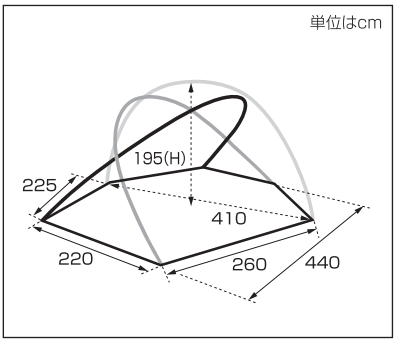
フレーム／φ16mmアルミ

ロ　ー　プ／PPロープ、自在付ロープ2.4m×4

ペ　　グ／20cm×8、25cm×2

キャリーバッグサイズ／74×28×30cm

平均総重量／9.50kg



品質保証について

スノーピークのプロダクツは、フィールドで確実に機能するためにフィールドテストからスペックが決定し、長期間にわたって使い込んでいただけるような品質管理がなされています。万一、明らかに製造上の欠陥による問題が生じたときは、無料で修理又は新品と交換させていただきます。また、以下のような破損につきましては保証できませんのでご了承ください。

1.不測の事故による製品の破損
2.誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3.経年変化や紫外線の影響による素材の劣化
4.その他製造上の欠陥以外による製品の破損
5.改造品の破損

※ご不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店又は弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

株式会社スノーピーク
〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110　fax:0256-38-1015
www.snowpeak.co.jp
MADE IN CHINA